

目標達成計画

作成日: 令和 6年 12月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	4	運営推進会議では事故・ヒヤリハットの報告をしている。ヒヤリハット数も多く上がっているためデータが積みあがっている。ご家族への周知や事故の再発防止のため分析し、事業所掲示板など活用し推移など見える化ができていない。	ご家族への周知や事故の再発防止のため分析し、事業所掲示板など活用し推移など見える化ができる。	・事故やヒヤリハットの前提区分をしっかりと明示する ・一定期間の事故を集計し分析する ・分析したデータを掲示板などで周知する	6ヶ月
2	26	チームで作る介護計画書とモニタリングにおいて利用者ごとの日常生活リハビリの各利用者ごとの能力に応じた家事等が反映できていない。	チームで作る介護計画書とモニタリングにおいて利用者ごとの日常生活リハビリの各利用者ごとの能力に応じた家事等が反映でき、たとえ新人職員であっても利用者の能力に応じた日常生活リハビリが分かりやすいように整える。また、実施状況をご家族に周知できるようにする。	・日常生活リハビリの内容やバリエーションをすべて書き出し通し番号を付けてフロアに掲示する。 ・日常生活リハビリの通し番号で利用者ごとにできることについて一覧表を作成しフロアに掲示する。 ・行っている日常生活リハビリが計画書に反映できる仕組みを作る。	3ヶ月
5	33	本来のグループホームの在り方を実践されています。症状・状況に捉われず全員で外出・散歩は素晴らしい。ただ、慣れた施設で重度化しても看取り期においても過ごしたいとなることも踏まえ、HP等への周知・説明を実施して行きましょう。	施設での日々の様子や行事の様子、地域との関わりを多く持っている様子などをHPを活用して周知できる。施設のあるべき姿とそのための重度化対応の限界の理解をHPで周知・説明できるようにする。	・HP上にブログ機能で日々の活動風景の報告を定期的に行う。 ・担当者にブログ機能等HPで情報発信できるスキルを上げるための外部研修に参加する機会を作る。	6ヶ月
4	43	排泄の自立に向けた取り組みで排泄管理表を作成して記録データの集積は取れているが、集計データ分析ができていない。チームで分析結果を確認し、なぜおむつをしなくて良い状況を作れているかを検討し強みにできる環境を作る必要がある。	排泄管理表で集積した排泄記録をカンファレンスで分析し結果を反映した介護アプローチが図れるようにする。	・排泄管理表での各利用者の排泄リズムやパターンの把握を継続する。 ・把握した排泄リズムやパターンに応じた介助ができるようカンファレンスで分析や対応を協議する。 ・カンファレンスで話し合った個別の排泄介入を介護計画書に反映し、実践とモニタリングを繰り返す。	3ヶ月
1	その他	ご家族のアンケート結果より職員についての情報提供を欲しいとの要望がある。	職員の情報提供や新入社員の紹介ができる媒体を作成する。	・1階エントランスに職員紹介のコーナーを設ける ・3つの各種委員会が4カ月に1回の頻度で交代制で職員紹介コーナーを持ち回りで行う担当制の仕組みを作る。 ・令和7年4月から運用開始できるよう準備を進める	3ヶ月

(注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。